

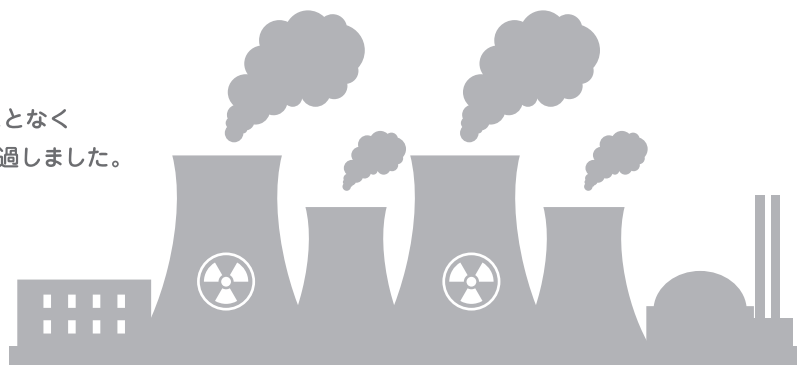
トーク&ワークショップ

「どうする、原発」

二人のゲストを招いて、異なる意見を聞く・話す・考える230分。

- 講演「原発ゼロで日本経済は再生する」吉原 毅(城南信用金庫理事長)
- 講演「リアルでポジティブな原発のたたみ方」橋川 武郎(一橋大学大学院教授)
- ワークショップ「どうする、原発」

原発は必要か、不要か。多様な主張が十分に提示されることなく
国民的な議論や合意がないまま事故から3年半以上が経過しました。
原発の是非をめぐる激しく対立するだけではなく
多様な意見を知り、話し合い、考える機会を増やしたい。
そんな思いから、今回2人のゲストをお招きします。
話を聞くだけではなく、ワークショップの時間を持ち、
参加者が主体的に考え、発言する機会を設けます。



吉原 毅 (よしわら つよし)

城南信用金庫理事長

1955年生まれ。東京都出身。慶應義塾大学経済学部卒。1977年城南信用金庫入職。1995年理事・企画部長、1996年常務理事。懸賞金付定期預金など新商品開発などに従事。その後、常務理事・市場本部長、事務本部長、業務本部長、副理事長を歴任し、2010年より現職。著書：「信用金庫の力」(岩波ブックレット)、「城南信用金庫の「脱原発」宣言」(クレヨンハウス・ブックレット)、「原発ゼロで日本経済は再生する」(角川学芸出版)。

危険でコストが高い原発はただちにゼロにして、新産業の幕開けで景気・雇用を拡大すべきと主張。



橋川 武郎 (きっかわ たけお)

一橋大学大学院商学研究科教授

1951年生まれ。和歌山県出身。東京大学経済学部卒。東京大学大学院を経て、青山学院大学経営学部助教授、ハーバード大学ビジネススクール 客員研究員、東京大学社会科学研究所教授などを歴任し、2007年より現職。総合資源エネルギー調査会委員。経営史学会会長。著書：「日本電力発展のダイナミズム」(名古屋大学出版会)、「原子力発電をどうするか」(名古屋大学出版会)、「東京電力 失敗の本質」(東洋経済新報社)、「電力改革」(講談社)、「日本のエネルギー問題」(NTT出版)など。

原子力は過渡的なエネルギーとしつつも、現実的でリアルなアプローチで原発を「たたむ」べきと主張。

● 日 時: **10月18日(土)**

開場14:00 開演14:30 終了予定18:20

● 会 場: **国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟 第1ミーティングルーム**

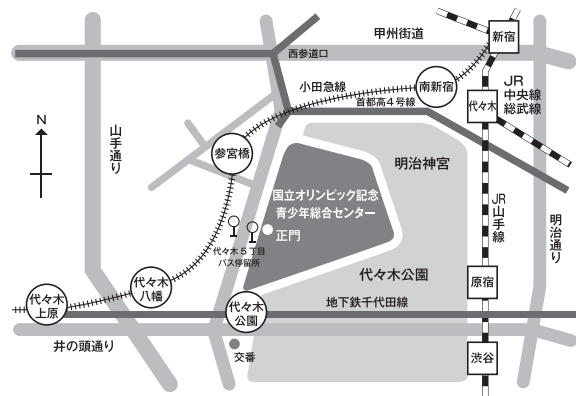
東京都渋谷区代々木神園町3-1 (小田急線・参宮橋駅・徒歩約7分)

Tel.: 03-3469-2525

● 参加費: **事前申込み1,000円、当日1,200円**

● 申込み: **E-mail: info@kokumintohyo.com**

氏名・メールアドレスを記載し、件名を「1018イベント申込み」としてください。



みんなで決めよう
「原発」国民投票



●市民グループ

みんなで決めよう「原発」国民投票

<http://kokumintohyo.com/>

112-0005 東京都文京区水道2-11-7 第3毛木ビル2階

TEL & FAX: 03-6902-9775